Copywrite
遊学社　長山　訓

Part-HA7119 ●発言真偽（初級～上級）の公開問題

内容的に関連性のある数人の発言者の中に，正直者（本当のことを語っている人）と，嘘つき（事実とは異なること）が混じっている状況が示される問題の世界です。問題の中で登場する嘘つきにだまされるようでは，正解は不可能です。十分，気をつけましょう。
なお，刑法的に見れば，嘘（故意に事実と異なる発言）と，間違い（過失で事実と異なる発言）では，罪の重さ（量刑）が異なりますが，このPartのの世界では，嘘も間違いも同じ扱いとなっている問題がほとんどすべてです。

初級～中級では，真偽表（真理表）を作成して解くタイプの問題も少なくありませんが,上級レベルでは少数派です。上級では様々なアプローチパターンがありますが，オーソドックスな問題では，内容的に完全に一致する複数の発言，あるいは矛盾する複数の発言に着目したアプローチをとります。
※最初の２ページは，問題ではありません。

１）発言の完全一致

まずはじめに，次の２人の発言から考えてみましょう。

Ａ　「和美は男性です」
Ｂ　「和美は男性です」

上記Ａ，Ｂの２人の発言は完全に一致しています。なお，Ａの発言を受けてＢが発言する場合，

Ｂ　「Ａは本当のことを言っています」　　あるいは，
Ｂ　「Ａが言っていることは正しいです」 となっていることが多いです。

いずれにしても，２人以上の発言者の発言内容が完全に一致していれば，それらの発言者はすべて正直者か，すべて嘘つきのいずれかとなります。

では，次の３つの発言はいかがでしょうか。なお，私たちは，ミチが人間なのかそうでないのか，男性なのか女性なのか，子供なのか大人なのか，何一つ知らないものとします。,

Ａ　「和美は男性です」
Ｂ　「和美は男性で，未成年です」
Ｃ　「和美は未成年で，学生です」

この３つは，完全一致とは言えません。ただし，後述する矛盾する発言にも該当しません。和美の実態によって，真偽の組合せは次のように様々です。ですから，こうした発言の組合せから糸口を得ようとしてはいけません。

和美が↓	Ａ	Ｂ	Ｃ
男性，成　人，学生である	本	本・嘘	嘘・本
男性，成　人，学生でない	本	本・嘘	嘘・嘘
男性，未成年，学生である	本	本・本	本・本
男性，未成年，学生でない	本	本・本	本・嘘
女性，成　人，学生である	嘘	嘘・嘘	嘘・本
女性，成　人，学生でない	嘘	嘘・嘘	嘘・嘘
女性，未成年，学生である	嘘	嘘・本	本・本
女性，未成年，学生でない	嘘	嘘・本	本・嘘

なお,「嘘・嘘」は当然嘘つきですが,「本・嘘」,「嘘・本」も，発言の中に嘘が混じっている以上，原則として嘘つき扱いです。厄介ですよね。

２）二者択一矛盾（デジタル矛盾）

では，次の２人の発言はどうでしょうか？

Ａ　「和美は男性です」
Ｂ　「和美は女性です」

上記Ａ，Ｂの２人の発言は「二者択一矛盾」です。なお，Ａの発言を受けてＢが発言する場合，

Ｂ　「Ａは嘘をついています」　　あるいは，
Ｂ　「Ａが言っていることは間違いです」　となっていることが多いです。

いずれにしても，２人の発言者の発言内容が二者択一矛盾であれば，それらの発言者は必ず，一方が正直者で他方が嘘つきとなります。

なお，「二者択一」と言うのは，「女性と男性」，「成人と未成年」のように，それ以外の分類が存在しないことを意味します。

３）第３のケースが存在する矛盾（アナログ矛盾）

さらに，次の２人の発言を考えてみましょう。

Ａ　「和美は金メダルを獲得した」
Ｂ　「和美は銀メダルを獲得した」

上記Ａ，Ｂの２人の発言は「第３のケースが存在する矛盾」です。
この場合，一方が本当で他方が嘘つきのケースの他に，２人とも嘘つきのケースが考えられます。つまり，和美が獲得したのが銅メダルであったり，和美がメダルを獲得できなかった場合は，Ａ，Ｂともに嘘つきとなります。

４）２人とも嘘つきは不可能な否定形の発言

次の２人の発言から得られる事実は何でしょうか？

Ａ　「和美は長男ではありません」
Ｂ　「和美は次男ではありません」

得られる結論は，Ａ，Ｂの少なくとも一方は正直者ということです。
なぜなら，Ａが嘘つきなら和美は長男であり，Ｂが嘘つきなら和美は次男，となって，矛盾が生じるからです。簡単ですよね。

５）「私は嘘つきです」と認める嘘つきはいない

正直者が「私は嘘つきです」と発言したり，嘘つきが「私は嘘つきです」と認めることもありません。よって，自分が正直者なのか，それとも嘘つきなのかについて語るとすれば，全員が「私は正直者です！」と答えることになります。

６）１つでも嘘があれば嘘つきに違いはない

これはすでに，前ページで見てきました。つまり，「男性で，未成年です」という発言があったとき，事実が下記の３つのいずれであっても，この発言は嘘つき発言となります（②，③の場合，半分は本当ではあるのですが…）。

①　成人している女性の場合
②　成人している男性の場合
③　未成年である女性の場合

Copywrite
遊学社　長山　訓

※ではまず，高卒対象国家公務員（かつての国家Ⅲ種）の問題からスタートしましょう。

問題 HA-7119-1（7121-1）

　ある事件には，Ａ～Ｅの５人の容疑者がいる。捜査をかく乱するために，５人は結束して次のように供述した。
　後日，５人のち，２人の供述は本当で，３人の供述は嘘であることが判明した。このとき，本当のことを言っている２人は誰と誰か。

Ａ　「ＢとＣは，以前からの知り合いです」

Ｂ　「Ａが言っていることは，本当です」

Ｃ　「私は，Ｂとは面識がありません」

Ｄ　「私は，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｅのいずれとも面識がありません」

Ｅ　「Ｃが言っていることは，嘘です」

1.　ＡとＢ
2.　ＢとＣ
3.　ＢとＥ
4.　ＣとＤ
5.　ＤとＥ

Copywrite
遊学社　長山　訓

問題 HA-7119-1（7121-1）

■真偽表（真理表）… 表において，〇は本当，× は嘘です。

真偽表（真理表）を作成して解くためには，正直者と嘘つきの人数が提示されていることが条件となります。

	A	B	C	D	E
①ＢとＣに面識ありのとき	〇	〇	×	？	〇
②ＢとＣに面識なしのとき	×	×	〇	？	×

問題文で，５人のうち，２人の供述が本当（〇）で，３人の供述は嘘（×）と設定されています。したがって，上記①は不可能であり，事実は②となり，Ｄの供述は本当（〇）となります。

「正解 4」となります。

ところで，もうお気づきかもしれませんが，この問題で真偽表を適用することには，やや危うい面があります。Ｄの供述については，①，②のいずれにおいても，直接的には真偽不明だからです。
今回は，たまたま運よく，①が成立しなかったことから，事実は②で確定し，Ｄ以外には〇がＣ１人だけだったため，Ｄも〇と確定できただけです。

■完全一致と二者択一矛盾に着目

- 内容的に，Ａの供述とＢの供述は，いずれも「ＢとＣは面識あり」で完全に一致します。

- 一方，「私（Ｃ）とＢは面識なし」と主張するＣの供述内容と，上記Ａ，Ｂの供述内容とは二者択一矛盾（面識があるのかないのか）です。

- また，「Ｃが言っていることは嘘です」というＥの供述は，具体的には，「ＢとＣは面識あり」ですから，
  Ａ，Ｂの供述内容とは完全一致であり，
  Ｃの供述内容とは二者択一矛盾です。

- 以上より，Ａ，Ｂ，Ｅの供述内容は，３人とも本当 or ３人とも嘘，のいずれかとなります。

  しかし，問題文で，本当は２人，嘘は３人と設定されていますから，

  「Ａ，Ｂ，Ｅの３人の供述がいずれも本当」は成立せず，
  「Ａ．Ｂ．Ｅの３人の供述はいずれも嘘」で確定します。

  よって，本当のことを言っているのは，Ｃ，Ｄの２人となります。

Copywrite
遊学社　長山　訓

問題 HA-7119-2（7121-4）

次に示すＡ～Ｄの発言のうち，本当のことを言っているのは２人だけである。このとき，正しくいえるのはどれか。

Ａ　「私は，ＢともＣとも面識がありません」
Ｂ　「私は，Ａと面識があります」
Ｃ　「Ｂが言っていることはウソです」
Ｄ　「Ｃが言っていることは本当です」

1.　ＡとＢは面識があり，ＡとＣも面識がある。
2.　ＡとＢは面識があるが，ＡとＣは面識がない。
3.　ＡとＢは面識がないが，ＡとＣは面識がある。
4.　ＡとＢは面識がなく，ＡとＣも面識がない。
5.　ＡとＢは，一方が本当のことを言い，他方がウソをついている。

問題 HA-7119-2（7121-4）

■真偽表（真理表）… 表において，〇は本当，× は嘘です。

	ＡとＢ →	面識あり	面識あり	面識なし	面識なし
	ＡとＣ →	面識あり	面識なし	面識あり	面識なし
Ａ	「ＡとＢ，ＡとＣはいずれも面識なし」	×	×	×	〇
Ｂ	「ＡとＢは面識あり」	〇	〇	×	×
Ｃ	「ＡとＢ面識なし」	×	×	〇	〇
Ｄ	「ＡとＢ面識なし」	×	×	〇	〇
本当のことを言っている人数		１人	１人	２人	３人

● 問題文では，「本当のことを言っているのは２人だけ」と設定されています。そうなるのは，ＡとＢは面識なし，ＡとＣは面識ありのときだけです。

「正解 3」となります。

● その結果，本当のことを言っている２人はＣとＤで，ＡとＢはウソをついていることになります。
すると，Ａの発言は，半分（ＡとＢは面識なし）は本当となりますが，残る半分（ＡとＣは面識なし）がウソであるため，トータルとして，ウソつきとなります。

■二者択一矛盾に着目
Ｂ　私は，Ａと面識があります。
Ｃ　Ｂが言っていることはウソです。
Ｄ　Ｃが言っていることは本当です。

● 「Ｂの発言はウソ」という発言があったなら，その発言（Ｃ）とＢの発言は二者択一矛盾となり，ＢとＣは必ず，一方が本当で他方がウソとなります。

● 「Ｃの発言は本当」という発言があったなら，その発言（Ｄ）とＣの発言は完全一致となり，ＣとＤは２人とも本当，または２人ともウソのいずれかとなります。

● すると，
case1）　Ｃ，Ｄが本当のとき，Ｂはウソとなり，
本当は２人だけですから，Ａはウソとなります。
このとき，ＡとＢは面識がなく，ＡとＣは面識があることになります。

case2）　Ｃ，Ｄがウソのとき，Ｂは本当となり，
本当は２人だけですから，Ａは本当となります。
しかし，「ＡとＢは面識なし」と語っているＡと，「ＡとＢは面識あり」と語っているＢが，２人そろって本当になることは不可能です。

● よって，case2 は成立せず，case1 で確定します。

Copywrite
遊学社　長山　訓

※国税専門官の採用試験で出題されましたが，国税特有の複雑怪奇な傾向は見られず，どんな試験種でも出題の可能性ありです。

問題 HA-7119-3（7132-2）

ある幼稚園で，砂場で遊んでいた４人の園児Ａ～Ｄと，部屋で遊んでいた３人の園児Ｅ～Ｇの計７人のうち，逆上がりができる子が２人だけいることがわかっている。そこで，Ａ～Ｇの７人にたずねたところ，それぞれ以下のように発言した。

ただし，７人のうち，本当のことを言っているのは２人だけで，あとの５人は間違ったことを言っていた。これらのことから，確実にいえるのはどれか。

Ａ　「Ｂは逆上がりができるよ」

Ｂ　「Ａは間違ったことを言っているよ」

Ｃ　「ＡもＢも，２人とも間違ったことを言っているよ」

Ｄ　「砂場で遊んでいた４人の中に，逆上がりできる子はいないよ」

Ｅ　「私は逆上がりはできないよ」

Ｆ　「逆上がりができるのは，２人とも，砂場で遊んでいた子だよ」

Ｇ　「ＥとＦのうち，少なくともどっちかは本当のことを言っているよ」

1. 本当のことを言っている２人のうち，１人は砂場で遊んでいた子であり，もう１人は部屋で遊んでいた子である。
2. 逆上がりができる２人のうち，１人は砂場で遊んでいた子であり，もう１人は部屋で遊んでいた子である。
3. Ｄは本当のことを言っており，Ｅは間違ったことを言っている。
4. 逆上がりができるのは，ＥとＦの２人である。
5. Ｂは逆上がりができ，間違ったことは言っていない。.

Copywrite
遊学社　長山　訓

問題 HA-7119-3（7132-2）

● 国税にしては，オーソドックスな問題だと思います。

① Ａの発言とＢの発言は二者択一矛盾であり，

Ｂが逆上がりができるとき，　Ａは本当で，Ｂは間違い，
Ｂが逆上がりができないとき，　Ａは間違いで，Ｂは本当，
となります。

すると，「Ａ，Ｂは２人とも間違えている」というＣの発言は間違いとなります。

② 本当のことを言っているのは２人だけですから，残るＤ～Ｇの４人の中に，本当のことを言っている人が１人だけいることになります。

③ まず，Ｇの発言は間違いで確定します。

Ｇの発言が本当だとすると，Ｅ，Ｆのうち少なくとも１人は本当となり，①よりＡ，Ｂのいずれか１人も本当ですから，本当が３人以上になってしまいます。

④ ③でＧの発言は間違いで確定しましたから，Ｅ，Ｆともに間違いで確定し，残ったＤが本当で確定します。

「正解 3」となります。

● なお，逆上がりができる２人は，ＥとＦまたはＥとＧとなります。
いずれにしても，２人とも部屋で遊んでいた園児となります。

Copywrite
遊学社　長山　訓

※国税専門官の採用試験で出題された問題です。

問題 HA-7119-4（7132-5）

安藤，河合，真田，高島，中野，羽田，前川，山田の８人の血液型について，Ｐ～Ｔの５人が次のように発言しているが，このうち１人だけが嘘をついていることが判明した。

Ｐ　「安藤，高島，中野，山田はみなＯ型である」
Ｑ　「真田，高島，羽田，前川はみなＢ型かＯ型である」
Ｒ　「河合，真田，羽田，山田はみなＢ型である」
Ｓ　「安藤，河合，中野，前川はみなＢ型ではない」
Ｔ　「真田，高島，中野，前川はみなＡ型かＯ型である」

このとき，次のうち確実にいえるのはどれか。なお，血液型はＡ型，Ｂ型，Ｏ型，ＡＢ型のいずれかとする。

1. 河合以外の７人は，Ｏ型で確定する。
2. ＡＢ型は１人だけである。
3. Ａ型が４人以上いる。
4. Ｂ型が４人以上いる。
5. Ｏ型が６人以上いる。

Copywrite
遊学社　長山　訓

問題 HA-7119-4（7132-5）

★　嘘つきは１人だけですが，その嘘つきの発言すべてが嘘なのか，一部だけが嘘なのか，示されていないことに注意してください。

①　山田は，Ｐの発言では「Ｏ型」，Ｒの発言では「Ｂ型」で矛盾します。
よって，ＰとＲは少なくとも一方が，山田の血液型に関して嘘をついています。
※理論上は２人とも嘘も考えられますが，嘘つきは１人だけなので，１人は本当となります）。

②　河合は，Ｒの発言では「Ｂ型」，Ｓの発言では「Ｂ型でない」で矛盾します。
よって，ＲとＳは少なくとも一方が，河合の血液型に関して嘘をついています。
※①同様，理論上は２人とも嘘も考えられますが，嘘つきは１人だけなので，１人は本当となります）。

③　①，②より，Ｒが本当とすると，Ｐ，Ｓともに嘘つきとなり，嘘つきが１人だけという条件に反します。よって，唯一の嘘つきはＲで確定し，他の４人はいずれも事実を語っていることになります。

④　Ｐの発言は事実ですから，安藤，高島，中野，山田はＯ型で確定します。

⑤　Ｑの発言は事実ですから，真田，前川はＢ型かＯ型となり，
Ｔの発言も事実ですから，真田，前川はＡ型かＯ型となります。
よって，真田と前川もＯ型で確定します。

●　残っているのは，河合と羽田だけです。

⑥　Ｓの発言は事実ですから，河合は「Ｂ型でない」ことは確定しますが，Ａ型，Ｏ型，ＡＢ型のいずれかは確定できません。

⑦　Ｑの発言は事実ですから，羽田は「Ｂ型かＯ型のいずれか」で確定しますが，Ｂ型，Ｏ型のいずれかは確定できません。

★　羽田がＯ型だとすれば，
　　Ｒの発言はすべて嘘となります。
羽田がＢ型だとすれば，
　　Ｒの発言のうち，「羽田はＢ型」の部分だけは事実を語ったことになります。

問題文において，嘘つきの発言がすべて嘘なのか，一部が嘘なのかが明記されていないため，羽田の血液型は特定できません。

したがって，
　河合（Ａ型，Ｏ型，ＡＢ型のいずれか）
　羽田（Ｂ型，Ｏ型のいずれか）
の２人は確定できませんが，他の６人は全員Ｏ型で確定します。

「正解 5」となります。

Copywrite
遊学社　長山　訓

問題 HA-7119-5（7121-8-1）

　Ａ～Ｃの３人兄弟がいる。兄弟に関する次の記述ア～オのうち，一つだけが正しく，他はすべて誤りであるとき，確実にいえるのはどれか。

　ア　長男はＡである。
　イ　長男はＢではない。
　ウ　次男はＡである。
　エ　次男はＣではない。
　オ　三男はＣではない。

1.　長男はＡで，次男はＢである。
2.　長男はＡで，次男はＣである。
3.　長男はＢで，次男はＡである。
4.　長男はＢで，次男はＣである。
5.　長男はＣで，次男はＡである。

問題 HA-7119-6（7121-9-1）

　３人の生徒Ａ，Ｂ，Ｃは正直者か嘘つきのいずれかであり，正直者は必ず事実を語り,嘘つきは事実に反することを語るものとする。まず,Ａが先生に,自らについて正直者か嘘つきかを語ったが，小声で語ったため，その内容はＡの傍にいたＢとＣにしか聞こえなかった。その後，Ｂ，Ｃの順に次のように発言したとき，確実にいえるのはどれか。

　Ｂ　「Ａは,『私は正直者です』と言いました。」
　Ｃ　「Ｂが言ったことは事実です。」

1.　Ａ，Ｂとも嘘つきである。
2.　Ａ，Ｃとも嘘つきである。
3.　Ｂ，Ｃとも正直者である。
4.　Ｂ，Ｃとも嘘つきである。
5.　３人とも正直者である。

問題 HA-7119-5（7121-8-1）

● アとウは矛盾しますが，二者択一矛盾ではなく，第３のケースが存在する矛盾です。第３のケースとは，Ａが三男の場合で，このとき，ア，ウともに誤りとなります。
また，Ａが長男の場合，アは正しく，イは誤り，
　　Ａが次男の場合，アは誤りで，イは正しい，となります。
つまり，ここから攻めると，３つの case を見る必要があります。

① そこで，まずはじめに，エとオに着目します。
エが誤りとすると次男はＣ，オが誤りとすると三男はＣとなり，矛盾しますから，エとオは少なくとも一方が確実に正しいと判明します。

② 問題文によると，正しいのは一つだけですから，ア，イ，ウは確実に誤りと判明します。

	確実に誤り ↓	得られる結論 ↓
ア	長男はＡである。	長男はＡではない①
イ	長男はＢではない。	長男はＢである
ウ	次男はＡである。	次男はＡではない②

①，②より，Ａは三男で確定し，残るＣは次男で確定します。

「正解 4」となります。

問題 HA-7119-6（7121-9-1）

● この設定の場合，
正直者は必ず，「自分は正直者です」と，事実を語り，
嘘つきは必ず，「自分は正直者です」と，事実に反することを語ります。

正直者が「自分は嘘つき」と言えば，嘘つきになってしまいますし，
嘘つきが「自分は嘘つき」と言えば，正直者になってしまうからです。

つまり，全員が「自分は正直者です」と語ることになります。

① よって，ＢとＣにしか聞こえなかったＡの発言は，「私は正直者です」で確定します。

② すると，Ｂの発言（Ａは，『自分は正直者です』と言いました）は事実で，Ｂは正直者で確定します。

② すると，Ｃの発言（Ｂが言ったことは事実です）も事実となり，Ｃも正直者で確定します。

③ 正直者であっても，嘘つきであっても，「自分は正直者です」と語ることになるのですから，Ａが正直者なのか，それとも嘘つきなのかを確定することはできません。

「正解 3」となります。

Copywrite
遊学社　長山　訓

問題 HA-7119-7（7121-10-1）

　Ａ～Ｄは４人兄弟で，それぞれ次のように発言しているが，長男と四男は本当のことを話し，次男と三男は嘘をついていることが判明した。

　Ａ　「私だけが独身です」
　Ｂ　「私は次男です」
　Ｃ　「私は長男ではありません」
　Ｄ　「Ｂ，Ｃとも嘘をついています」

　このとき，次のうち妥当なものはどれか。

1.　長男はＡ，次男はＤである。
2.　長男はＣ，三男はＢである。
3.　次男はＣ，三男はＢである。
4.　次男はＤ，四男はＡである。
5.　三男はＤ，四男はＣである。

Copywrite
遊学社　長山　訓

問題 HA-7119-7（7121-10-1）

① 仮に，Ｂが次男とすると，
次男のＢが「私は次男です」と，事実を話したことになり，示された条件（次男は嘘つき）に反します。よって，Ｂは次男ではありません。

② すると，
次男ではないＢが「私は次男です」と，嘘をついたことになります。嘘つきは次男と三男ですが，①で次男ではないと判明していますから，Ｂは三男で確定します。

③ 仮に，Ｃが長男とすると，
長男のＣが「私は長男ではない」と嘘をついたことになり，示された条件（長男は本当のことを発言）に反します。よって，Ｃは長男ではありません。

④ すると，
長男ではないＣが「私は長男ではない」と，事実を話したことになります。本当のことを発言しているのは長男と四男ですが，③で長男ではないと判明していますから，Ｃは四男で確定します。

⑤ 以上より，Ｂは嘘をつき，Ｃは本当のことを語っていますから，
Ｄの発言（Ｂ，Ｃともに嘘つき）は事実に反し，Ｄは嘘つきとなります。
嘘つきは次男と三男ですが，すでに三男はＢで確定していますから，
Ｄは次男で確定します。

⑥ 残ったＡが長男で，Ａだけが独身と確定します。

「正解 1」となります。

Copywrite
遊学社　長山　訓

※この問題は，厳密に言えば「発言の真偽」とは言えないのですが，真偽に類するものとして掲載します。なお，出題はかつての国家Ⅱ種です。

問題 HA-7119-8（7135-3）

ある会議場では，質問に対し，出席者が各自の青ランプまたは赤ランプを点灯させることによって回答を示すシステムが設けられている。
出席者は，回答が Yes なら青ランプ，No なら赤ランプを点灯させることになっているが，一部の出席者には，その青と赤の意味を逆に知らせてしまった。「第一号議案」への賛否について，出席者全員の意見を正しく確認できるような質問は，次のうちではどれか。

1. 第一号議案に反対しますか。

2. 「第一号議案に反対しますか」という質問に対して，No と回答しますか。

3. 「第一号議案に賛成しますか」という質問に対して，Yes と回答しますか。

4. 「第一号議案に賛成しますか」という質問に対して，青ランプを点灯させますか。

5. 第一号議案に賛成で，かつ「第一号議案に賛成しますか」という質問に対して，青ランプで回答しますか。

Copywrite
遊学社　長山　訓

問題 HA-7119-8（7135-3）

● 肢 2（「反対か？」に対して No）と，肢 3（「賛成か？」に対して Yes）は，どちらも，「賛成？」という主旨という点で一致していますね。
正解は１つだけですから，肢 2，肢 3 は正解にはなりません。

● 肢 1 はあまりにシンプル過ぎて，正解になるとは考えにくいですから，正解は肢 4 または肢 5 のいずれかと絞ってよさそうに思います。
もちろん，ここでは，すべての選択肢をチェックしますが。

● 各選択肢において，最終的に青，赤いずれを選択するかは，下線部の色となります。
また，肢 5 は質問が２つありますから，
２つとも Yes のときのみ，　トータルで Yes，
少なくとも一方で No なら，トータルで No となります。
１つでも嘘が混じっていれば嘘つきになるのと同じですね。

		正しく通知された者		逆に通知された者	
		↓	↓	↓	↓
		賛成のとき	反対のとき	賛成のとき	反対のとき
		↓	↓	↓	↓
肢 1	反対か？	Ｎなので赤	Ｙなので青	Ｎなので青	Ｙなので赤
肢 2	「反対か？」に No か？	Ｙなので青	Ｎなので赤	Ｙなので赤	Ｎなので青
肢 3	「賛成か？」に Yes ？	Ｙなので赤	Ｎなので赤	Ｙなので赤	Ｎなので青
肢 4	「賛成か？」に青か？	Ｙなので青 青なのでＹ Ｙなので青	Ｎなので赤 赤なのでＮ Ｎなので赤	Ｙなので赤 赤なのでＮ Ｎなので青	Ｎなので青 青なのでＹ Ｙなので赤
肢 5	「賛成か？」かつ「賛成か？」に青か？	Ｙなので青 青なのでＹ Ｙなので青	Ｎなので赤 赤なのでＮ Ｎなので赤	Ｙなので赤 赤なのでＮ Ｎなので青	Ｎなので青 青なのでＹ Ｙなので赤
		２つともＹなので青	２つともＮなので赤	Ｎが１つあるので青	Ｎが１つあるので青

● 以上のうち，
case1）すべての賛成者が青，すべての反対者が赤
case2）すべての賛成者が赤，すべての反対者が青
の２ケースのいずれかに該当するのは肢 4（case1 に該当）のみです。

「正解 4」となります。